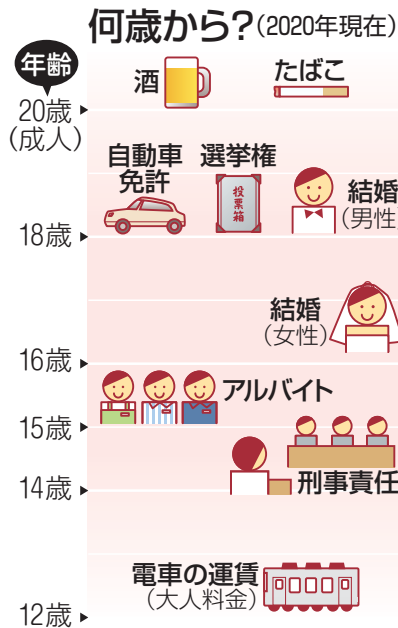


いつから大人？

「大人になったら…」。家庭や学校で、また友達との間でもよく使う言葉です。では、大人と子どもの違いとは？ 成人式を迎えたら、大人になるのでしょうか。十代半ばごろに男性が成人となった古来の「元服」にちなみ、大人への一歩を踏み出す「立志式」を開く中学校もあります。あなたは、いつから大人になるとおもうですか。「大人」とは？ (河郷丈史、植木創太)



辞書の広辞苑(第七版)で「大人」を引くと、「十分に成長した人」「成人」などとある。では、「成人」とは？ 日本では「成人年齢」が民法という法律で定められていて、二十歳。親の同意がなくても、携帯電話を買ったり、家を借りたりでき、社会の中で自分で決められることが大幅に増える。成人年齢は場所や時代で変わる。海外は十八歳とする国が多く、日本も二〇二三年四月から十八歳に引き下げられる。



子どもから大人まで三十年以上読み継がれている小説『ぼくらの七日間戦争』の作者、宗田理さん(九〇)の写真は大人になる時期を

『ぼくらの七日間戦争』作者 宗田理さん

◆ 選挙の投票 ↓ 18歳 ◆ お酒やたばこ ↓ 20歳

「十分に成長」とは何をもって言うのだろうか。体？ それとも心だろうか。子どもが「大人」をイメージする物事はいろいろあるが、日本で可能になる時期や年齢もさまざま。イラスト参照だ。例えば、働けるのは一部例外を除き、中学卒業後。結婚は現在は男性が十八歳、女性が十六歳から可能で、民法の成人年齢引き下げに合わせ、

「あえて言えば十四歳、中学二年が分岐点」と話す。中学一年生たちが厳しい校則や教師の体罰などに対して工場跡に立てこもり、大人に反乱を起こす物語。一九八五年に発表された、大ヒットした。十四歳を選んだ理由を、宗田さんは「進路を考え始める時期」と説明。「『い

男女とも十八歳からになる。世の中のことを決める政治に、選挙の投票を通じて参加できるのは十八歳から。お酒とたばこは、健康に配慮して二十歳からだ。中学生が「大人」とみなされる場合も、電車などの運賃は十二歳(中学生)以上が「大人料金」に。罪を犯すと、十四歳以上から刑事責任を問われ、刑罰を科される。

14歳「ずる賢さ」の入り口

「高校に受かりたい』『いい会社に就職したい』。どうすればかなうかを考えるようになり、真つすぐに物事を見る純粋さが失われる。そうして大人になっていく。十六歳だった戦争末期、「国のために戦え」と言われた。だが、世の中が変わると「自由に生きなさい」と一転。利害と打算で動く大人が「無責任で、ずる賢く」見えた。

一方、宗田さんは「ずる賢くないとお金も稼げないし、社会も経済も進歩しない。ずる賢さは、発展の原動力」とも言う。子どもたちには「純粋でいられる時間は短く、貴重。大人になることは誰も避けられない。だからこそ、今を大切に」とメッセージを送る。「昨日はかえってこない。明日はわからない。信じられるのは今日だけだ」

皆さんにとって「大人」とはどんな人ですか？ 意見を募集します。紙面で紹介したお子さんの中から抽選で、宗田さんのサイン入り文庫本をプレゼント。〒460 8511 中日新聞(東京新聞)生活部「学ぶ」係=ファクス052(222)5284、メールseikatu@chunichi.co.jp=へ。QRコードから、ワークシート兼応募用紙もダウンロードできます。

意見送ってください